

# DEPARTMENT OF MOLECULAR MEDICINAL CHEMISTRY

分子創薬化学研究室 (旧 薬化学研究室)

2011. 11



ORGANIC CHEMISTRY

教授  
佐野 茂樹  
Shigeki SANO

Members  
of Our Lab.

Key Words 機能性分子 創薬化学  
高選択的反応

助教  
中尾 允泰  
Michiyasu NAKAO

分子創薬化学研究室では「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、薬学としての独自性と学際性を備えた有機化学的研究の世界レベルでの展開を目指し、次のようなテーマに取り組んでいます。

- 1) ジケトピペラジンの分子構造特性に基づく機能性分子の創製
- 2)  $\alpha, \beta$ -不飽和カルボン酸の脱共役エステル化反応
- 3) HWE 反応を鍵反応とするリン脂質合成法の開発研究
- 4) 細胞分化誘導活性化化合物の探索研究
- 5) 抗糖尿病活性ならびに抗インフルエンザ活性医薬品素材の探索研究

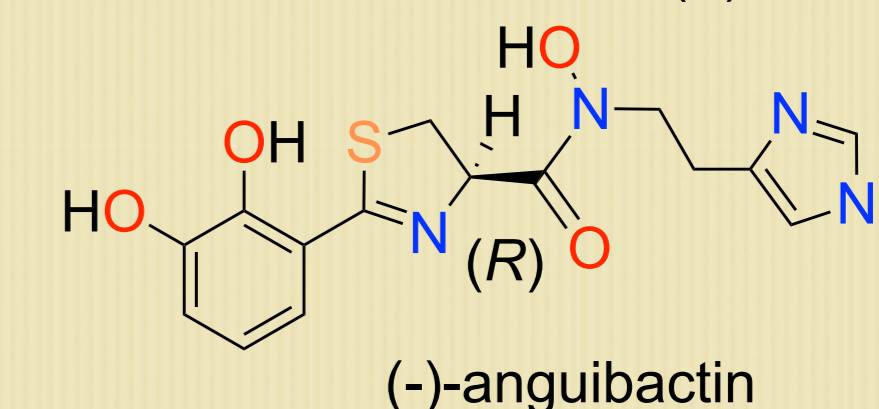
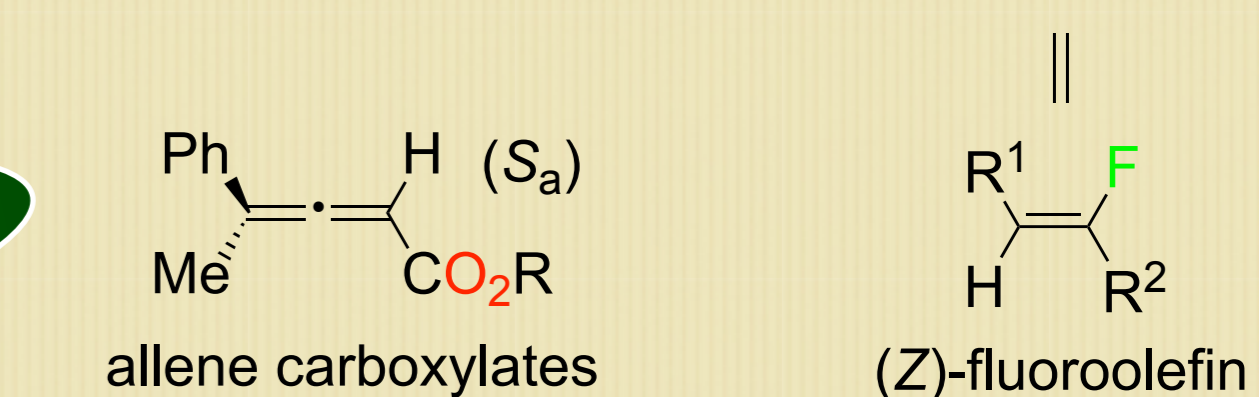
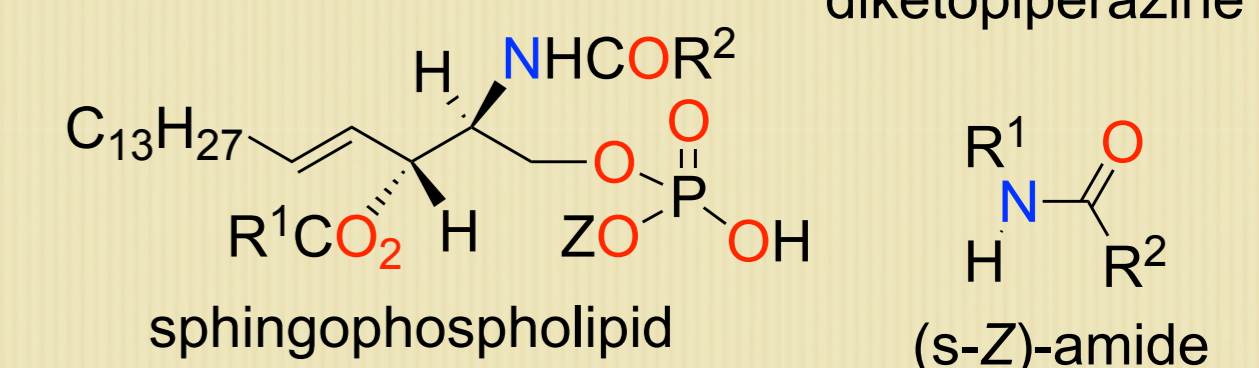
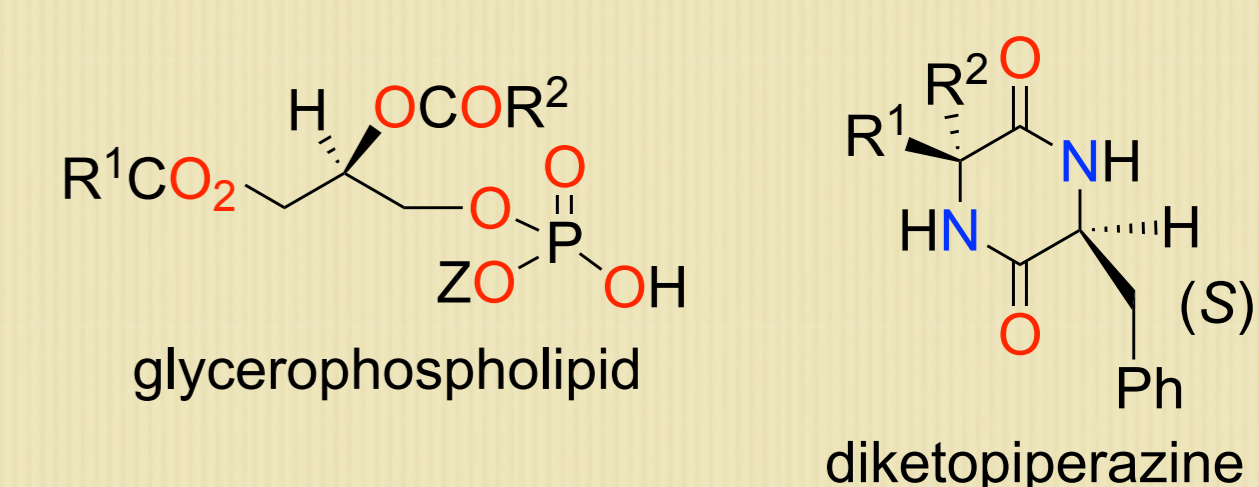
The main concern of this department is "development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs".

研究室の情報は下記ホームページに掲載しています。詳細についてのご質問等は、研究室 (6階東) をお訪ね下さい。

URL <http://web.ph.tokushima-u.ac.jp/mmc.html>



Key Compounds



2011-10-20撮影  
分子創薬化学研究室にて



2011-05-28撮影  
薬学部・インフォメーションプラザにて

## 平成22年度博士論文

- ・津村 武史 「 $\sigma$ 対称1,3-ジオールの触媒的不斉非対称化反応の開発研究」

## 平成22年度修士論文

- ・嘉村 真法 「環状酸無水物の不斉アルコリスを基盤とする光学活性cis-テトラヒドロフタラジノン誘導体の合成研究」
- ・坂井 亮介 「チアゾリジンアミドおよびエルマン試薬を基盤とする化学選択的蛍光標識試薬の合成開発研究」
- ・中山 ゆかり 「シデロフォア活性物質アンギバクチンならびに関連誘導体の合成研究」
- ・廣山 裕太 「N-メチルジケトピペラジン構造を基盤とする $\alpha$ -アミノ酸の新規絶対配置決定法の開発研究」
- ・矢野 哲平 「HWE 反応を基盤とする光学活性アレニルエステルの合成研究」

学部薬学科4名・創製薬科学科7名  
大学院博士前期課程4名・博士後期課程1名

学術研究員  
津村 武史  
Takeshi TSUMURA

技術補佐員  
竹内 菜穂子  
Nahoko TAKEUCHI

技術補佐員  
間 みどり  
Midori HAZAMA